

日本車両 価値創造のあゆみ

創業以来、新幹線をはじめとする鉄道車両から輸送用機器、橋梁、建設機械、機械設備まで、120年を超えて社会基盤の充実と発展に幅広く貢献してきました。インフラストラクチャー創造企業として、人々の暮らしを支える様々な製品を提供しています。

設立から1940年代

1950～1960年代

1970～1980年代

1990年代～現在

不況 日露戦争 金融恐慌

第二次世界大戦

朝鮮戦争

高度経済成長期

オイルショック

オイルショック

バブル景気

バブル経済の崩壊

リーマンショック

新型コロナウイルス流行

世の中の主な出来事

数々の日本初の製品を世に送り出す



- ・設立 (1896)
- ・不況で注文が激減、機械製品の製造委託契約により経営の安定を図り乗り切る (1898)
- ・橋梁事業に本格参入 (1926)

経営安定化のため、鉄道車両以外にも様々な機械製品等を製造

貨車や特殊自動車の製造・販売が本格的に



- ・東証、名証に再上場 (1949)
- ・総合機械メーカーへ転換を開始し、兼業への進出が本格化する (1955)

鉄道事業生産の拡大積極的に新分野を開拓し、兼業進出が本格化

組織の効率化や外部企業との連携を強化



- ・タンクローリー1,000台突破 (1970)
- ・農業近代化により産業機械部門やプラント部門が躍進 (1972)
- ・新幹線1,000両突破 (1989)

社会のニーズに応える製品開発で事業構造が変化



JR東海と資本業務提携契約を締結 (2008)

- ・創立100年 (1996)
- ・新幹線2,000両突破 (2002)
- ・民生用バルクローリー1,000台突破 (2006)
- ・新幹線3,000両突破 (2010)
- ・民生用バルクローリー2,000台突破 (2019)
- ・新幹線4,000両突破 (2019)

事業構造のリストラクチャリングを断行、事業基盤の回復

日本車両の主な出来事

鉄道車両

貨車
自動車
その他

輸送用機器

橋梁

建設機械
建設機械

宮農
エンジニアリング
産業機械

宮農
エンジニアリング
産業機械

